

節句祭り迫る！

龍王舞にクローズアップ

桜舞う4月。北条住吉神社では「北条節句祭り」が盛大に開催されます。神輿や豪華な屋台が街中を練り歩き、境内は春先の寒さを吹き飛ばすような熱気に包まれます。

中でも、2日目に行われる「龍王舞」（兵庫県無形民俗文化財に指定）は祭りの花形。鼻高面を被り、鉾を大きく動かし舞う姿は観衆を惹きつけます。

北条住吉神社の「龍王舞」は、ひがしひょう にしひょう東郷と西郷の2つがあり、東は栗田、西は小谷（舞方・まいかた ふえかた笛方）・谷（たいこかた太鼓方）・市村



▲東郷（栗田）の龍王



植田 拓馬さん (20) (小谷)

「一番カッコ良く踊りたい」

去年は練習のときだけだったので、今年は本番で踊れるのが、ワクワクします。堂々とカッコ良く踊って、4人の中で一番と言われたい。



竹内 準さん (18) (栗田)

「楽しんで踊りたい」

龍王舞は祭りの花形。伝統もあるし、本番で失敗はできません。去年は、踊るので精一杯でしたが、今年は楽しんで踊りたいと思います。

今年の 主役から一言

西

「龍王舞は責任重大」

踊るのは初めてで、緊張します。去年、笛をやりながら動きは見ていますが難しくそうです。責任重大なので、失敗しないようにしっかり舞いたい。



圓井 雅博さん (18) (小谷)

東

「誰が見てもいい！と言われたい」

今年で2年目。矛を地面すれすれに動かすなど、なかなか難しいですが、大きな動きを心がけたい。誰が見ても「いい龍王舞だ」と言われるよう頑張りたい。



前田 直貴さん (17) (栗田)

▼西郷（小谷）の龍王



ししがしらかた（獅子頭方）の3町が担当します。東は雄、おす舞に動が入った激しい動作を繰り広げます。西は雌、優雅に動きます。またお面も東西では少し違い、西は面の口が小さく視野が狭くなり、長時間舞っていると平衡感覚がなくなり目が舞ってしまうそうです。

そんな祭りの華、龍王舞の今年の舞方4人に今の心境を聞いてみました。皆さんも当日は、西と東を見比べ、誰が踊っているのか想像しながら、いつもと違う見方をして楽しんでみませんか？

●ホームページ <http://www.city.kasai.hyogo.jp>
■広報がさいは、資源保護のため再生紙を使用しています。



大豆インキを使用しています。

発行／加西市
〒675-2395 加西市北条町横尾1000番地 ☎0790④1110(代)
編集／加西市 経営戦略室 ☎0790④8700 FAX0790④1800